

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)大阪トヨタ自動車(株)寝屋川	階数	地上5F
建設地	大阪府寝屋川市	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	0人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,400時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年1月 予定	評価の実施日	2017年11月30日
敷地面積	10,226 m ²	作成者	伊藤 みゆき
建築面積	846 m ²	確認日	2017年12月1日
延床面積	2,884 m ²	確認者	伊藤 みゆき

本図を右クリックし、「図の変更」を選択していただくことで、外観写真を貼り付けることができます。

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

音環境 温熱環境 光・視環境 空気質環境

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

機能性 耐用性 対応性

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.8

生物環境 まちなみ 地域性・

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

建物外皮の 自然エネ 設備システ 効率的

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

水資源 非再生材料の 汚染物質

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

地球温暖化 地域環境 周辺環境

3 設計上の配慮事項		
総合	十分な駐車スペースを確保し、周辺道路への交通に配慮。	
その他	0	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
評価対象外	柱・梁・フレース・鋼製手摺等の鋼製材は、溶融亜鉛メッキ仕上とし、耐候性に配慮した。	・植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行っている。 ・敷地廻りには、緑地を設け、近隣の景観に配慮した。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・照明器具は、LEDを採用し、エネルギーの低減に努めた。	・躯体と仕上が容易に分別ができるよう配慮した。	十分な駐車スペースを確保し、周辺道路への交通に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2017年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H29-0108

Osakafu-新築・既存 2017V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)大阪トヨタ自動車(株)寝屋川BPセンター新築工事(立体駐車場)					
	建設地	大阪府寝屋川市葛原新町41-2,42-3					
	用途/区分	工場					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
	CO2削減					5	
	省エネ対策					4	
	みどり・ヒート アイランド対策					3	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
	エネルギー消費量の報告					報告しない	

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
項目		評価内容		
		スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.5	5
② 省エネ 対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価	建物全体 住戸・宿泊	4
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価		
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価		
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価		
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価		
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目		評価内容		
		スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	3.0	3
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0	
その他				
先進的技術の導入		技術の名称	考慮事項	
特に配慮した事項				